

2019 年 5 月 25 日 (土)

連続講座「京都の飛鳥・白鳳寺院」第 5 回

山科盆地の古代寺院～法琳寺跡・大宅廃寺を中心に～

(公財)京都市埋蔵文化財研究所 西田倫子

1、山科盆地の遺跡

①主要な遺跡

天智天皇陵・安祥寺・山科本願寺跡・中臣遺跡・大宅廃寺(瓦窯)・小栗栖瓦窯
・法琳寺跡(瓦窯)

2、法琳寺跡(伏見区小栗栖北谷町)

①これまでに行われた発掘調査

平成 12 年～ 測量・学術的発掘調査と地中レーダー探査(京都橘大学)
礎石建物

②法琳寺瓦窯

昭和 14 年京都大学文学部・梅原末治教授による調査
半地下式有牀式平窯

3、大宅廃寺(山科区大宅山田町)

①早くから認識されてきた寺院(大正 8・9 年京都府史蹟勝地調査会報告)

②これまでに行われた発掘調査

昭和 33 年「名神高速道路建設に伴う発掘調査」

乱石積基壇・礎石建物

昭和 60 年「大宅中学校建設に伴う発掘調査」

新旧 2 時期の建物南東隅の雨落ち溝・伽藍の区画溝群・伽藍区画溝外の掘立柱建物群

平成 3 年「上下水道工事に伴う立会調査」

瓦窯跡

平成 15 年「下水道工事に伴う立会調査」

瓦積基壇・基底部地覆石

平成 16 年「建物建設に伴う発掘調査」

瓦積基壇建物の東縁

③謎の寺院・山階寺

4、まとめ

≪主な参考文献・図版出典≫

京都橘大学文学部『法琳寺跡発掘調査報告』2007

京都府『京都府史蹟勝地調査会報告 第 1・2 冊』1919・1920

財団法人京都市埋蔵文化財研究所『昭和 60 年度 京都市埋蔵文化財調査概要』1988

京都市文化市民局『京都市内遺跡発掘調査概報 平成 16 年度』2005

堀 大輔『飛鳥白鳳の叢』京都市文化財ブックス第 24 集 2010

森 浩一『京都の歴史を足元からさぐる 洛北・上京・山科の巻』学生社 2008

金子裕之編『古代史復元 9 古代の都と村』講談社 1993

上原真人編『皇太后の山寺－山科安祥寺の創建と古代山林寺院－』柳原出版 2007



法琳寺跡出土結紐文垂木先瓦

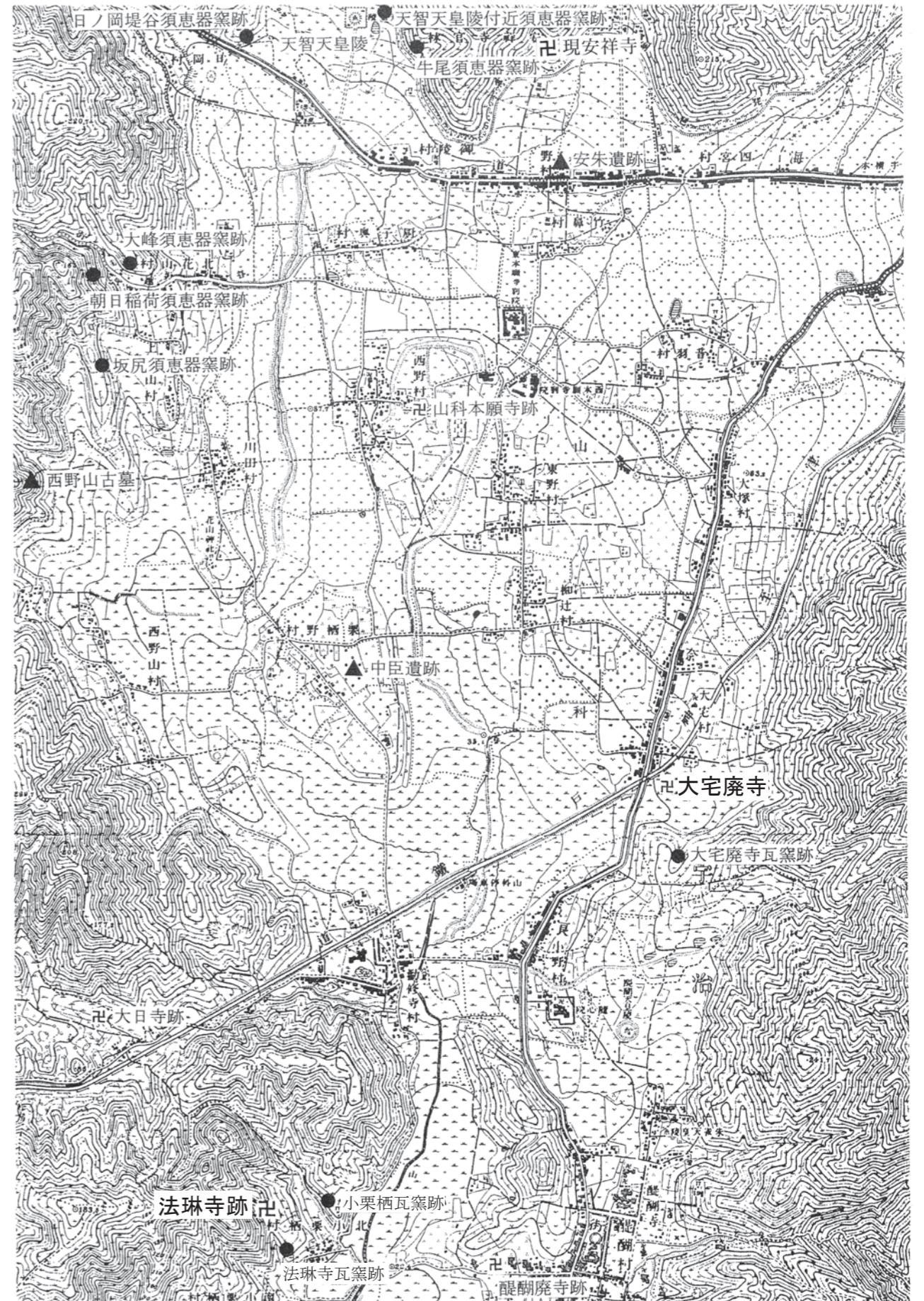


図 1 山科盆地の主要な遺跡(京都橘大 2007 より)

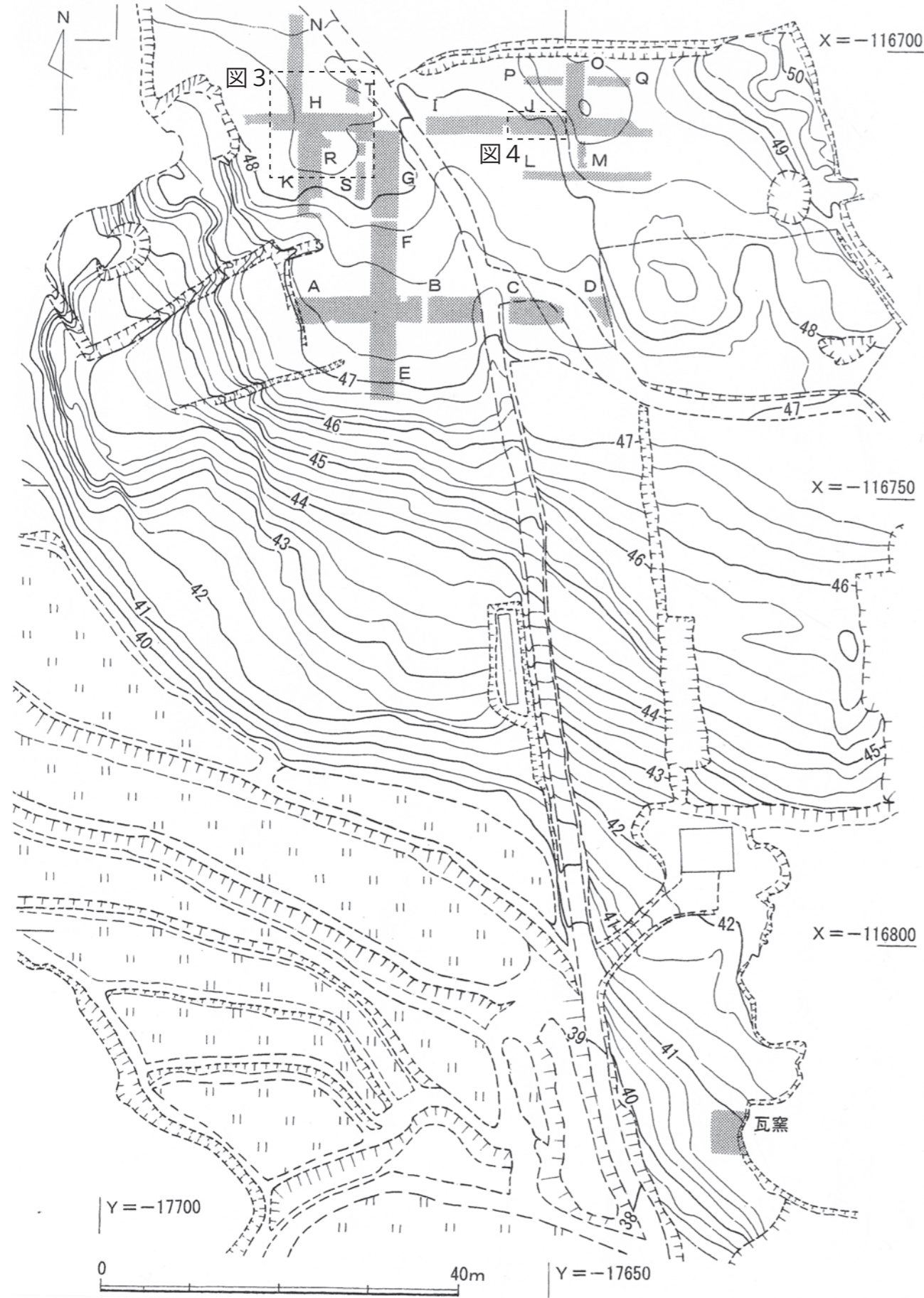


図2 法琳寺跡調査区配置図 (1:600)

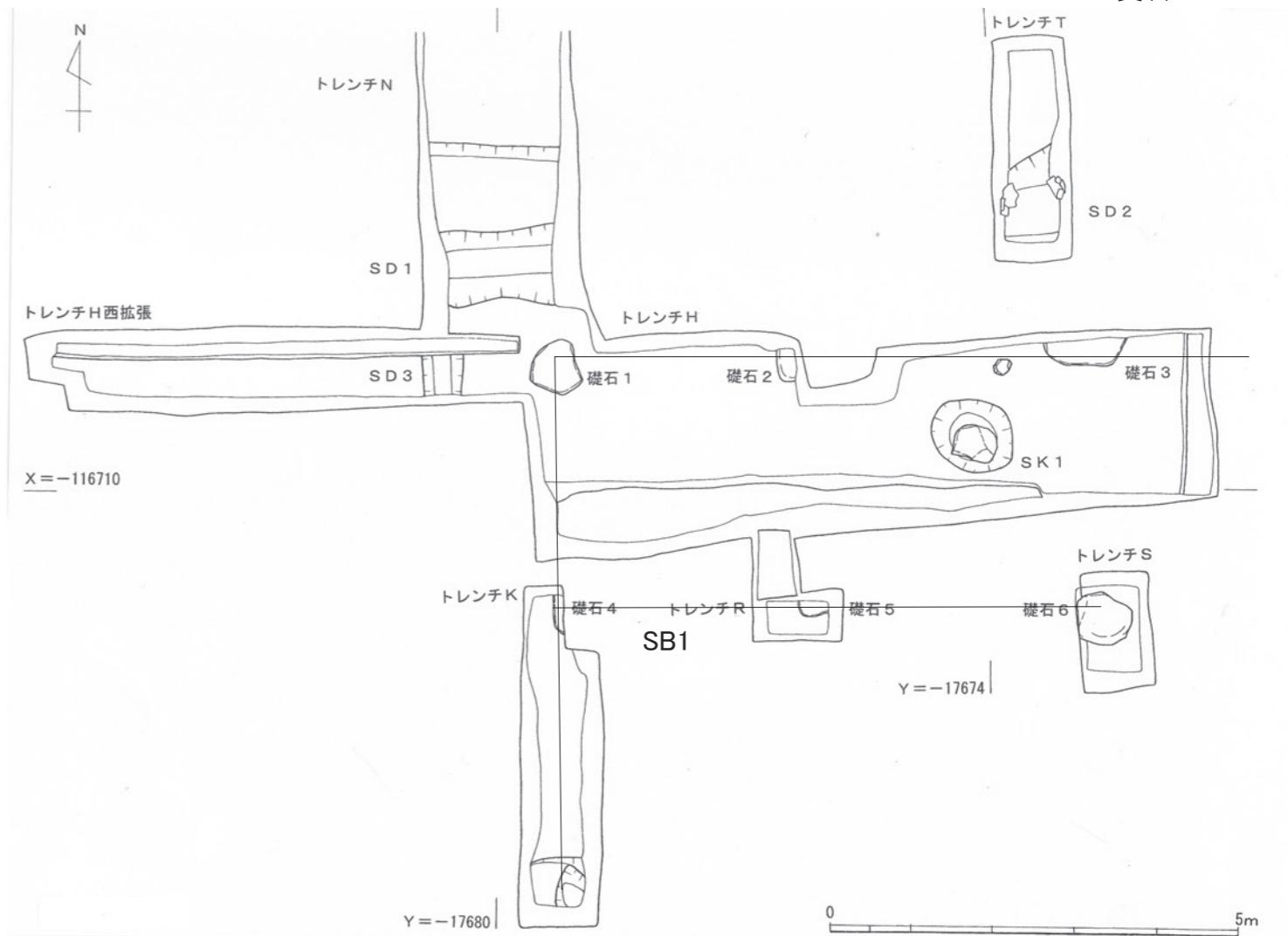


図3 建物SB1遺構平面図 (1:80)

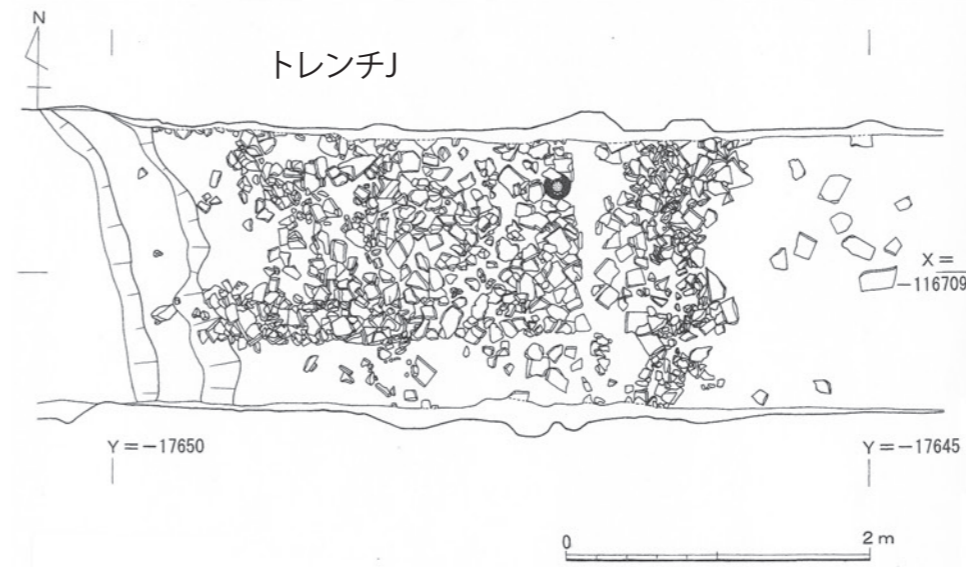
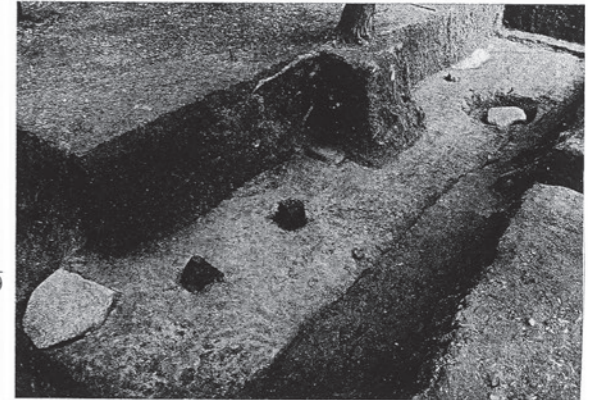


図4 瓦堆積SX1遺構平面図 (1:50)



トレンチH
礎石1・2・3、土坑SK1 (南西から)



トレンチJ 瓦堆積SX1 (西から)



法琳寺瓦窯 (北西から)

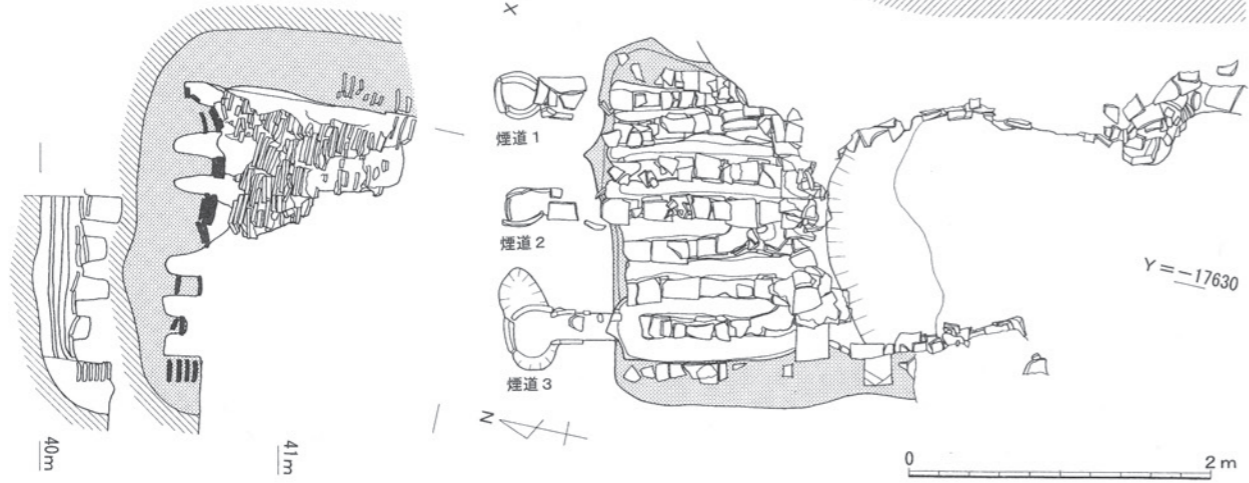


図5 法琳寺瓦窯遺構平面・断面図 (1:50)

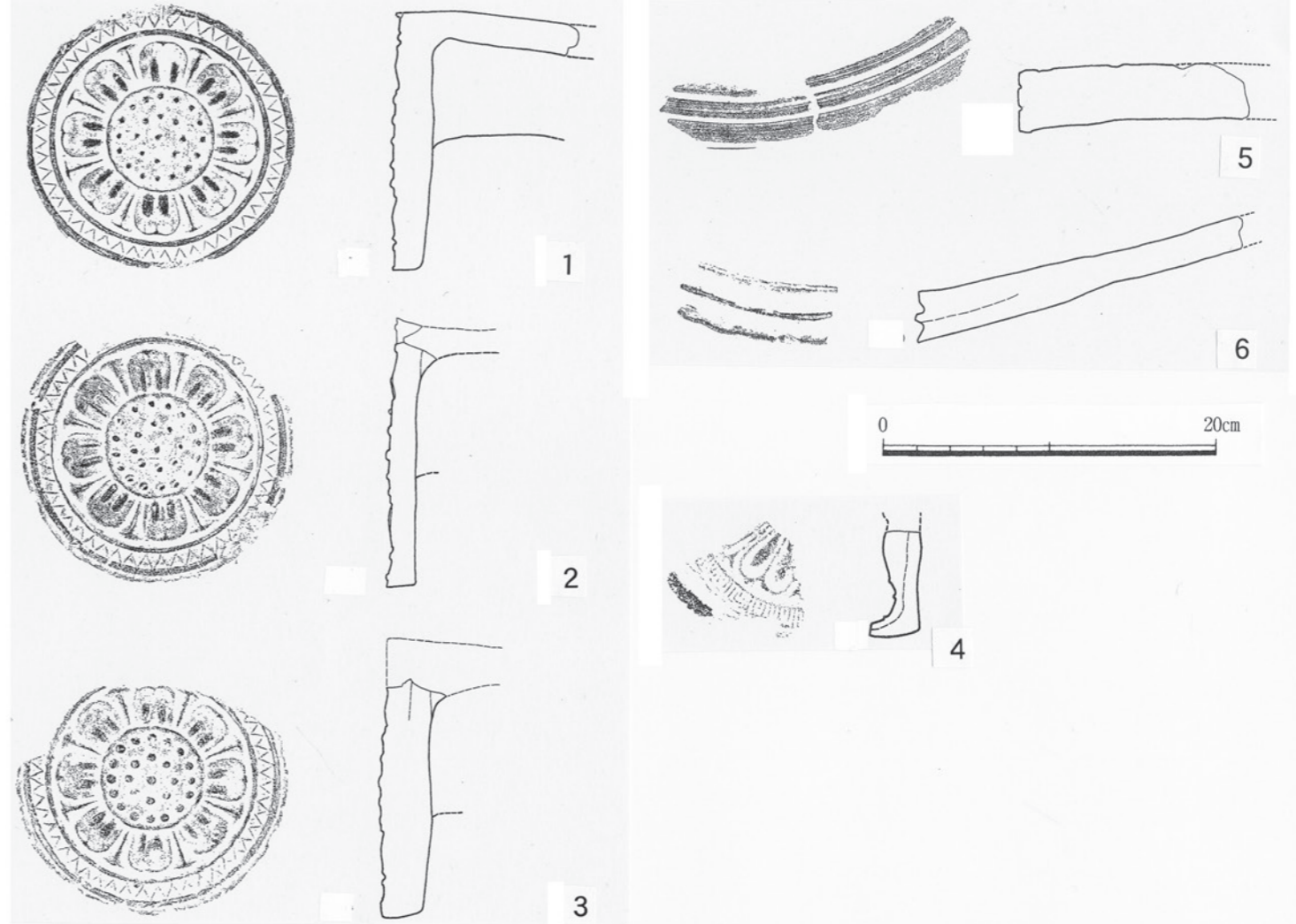


図7 軒瓦拓影及び実測図 (1:4)

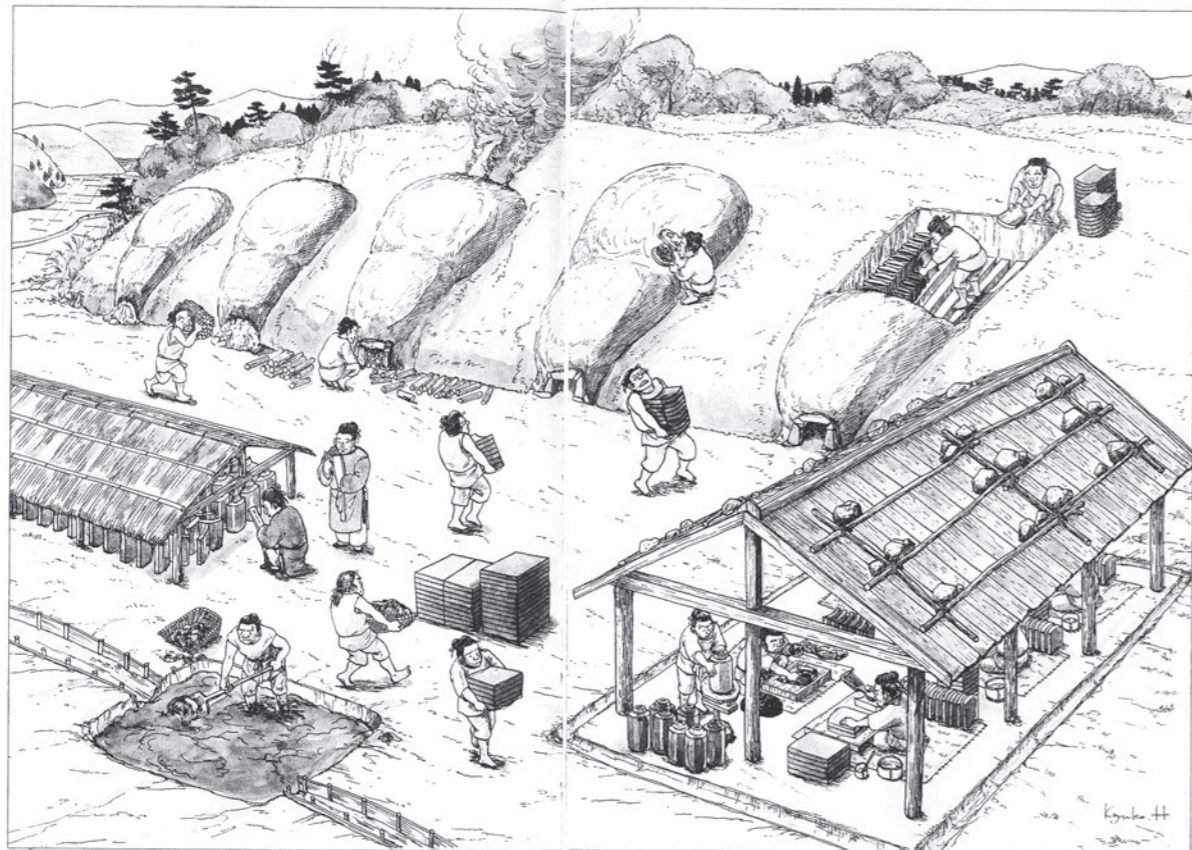


図6 官営造瓦工房の想像図 (金子 1993 より 原案/上原真人 作画/早川和子)

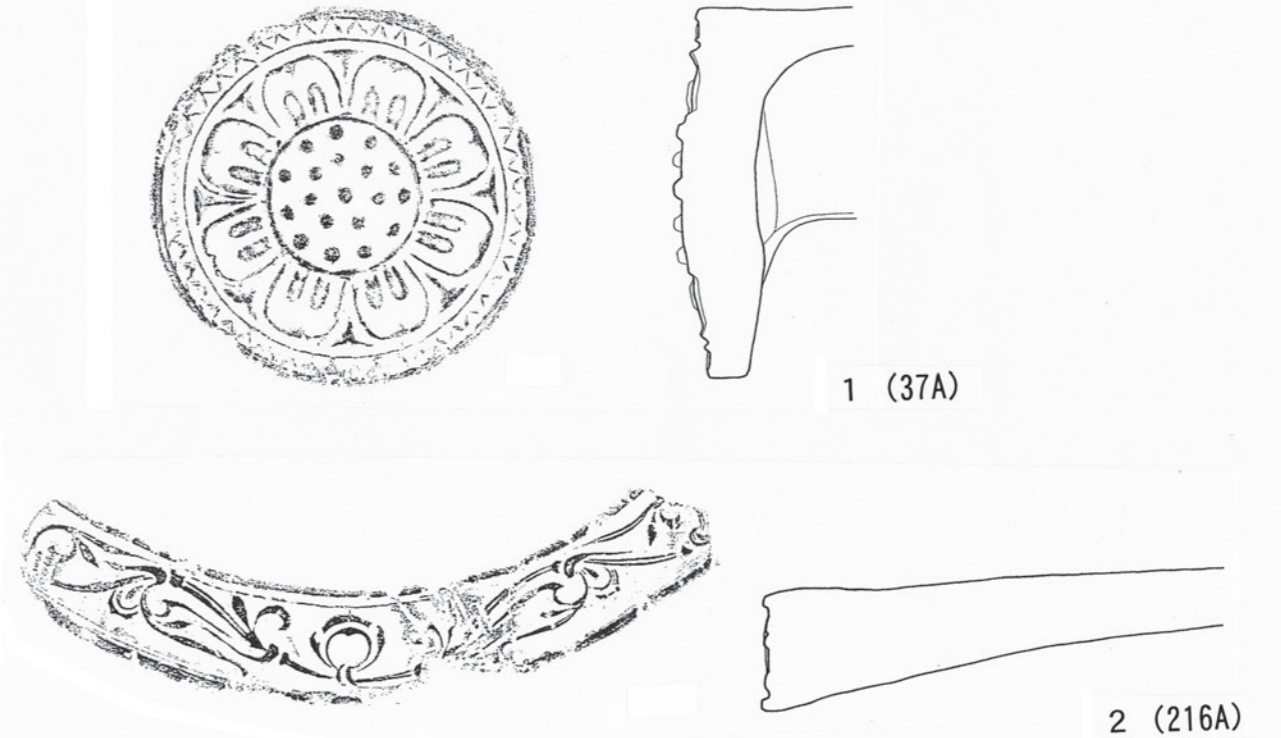


図8 法隆寺西院伽藍の軒瓦 (1:4)



図9 大宅廃寺調査区配置図と伽藍復元図 (1 : 1000)



横穴式石室 (南西から)

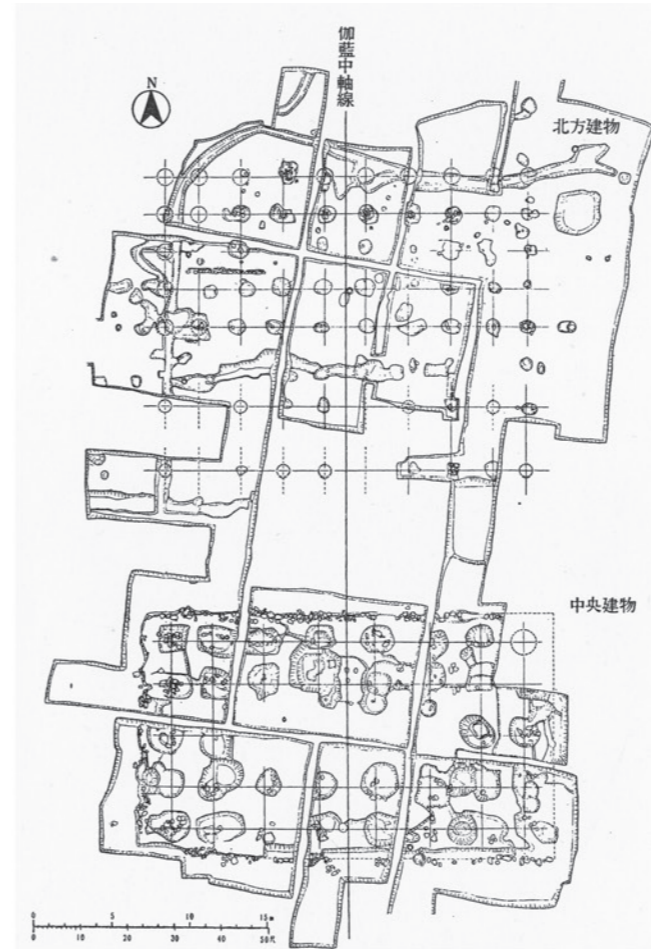


図10 昭和33年度調査遺構平面図 (1 : 500)

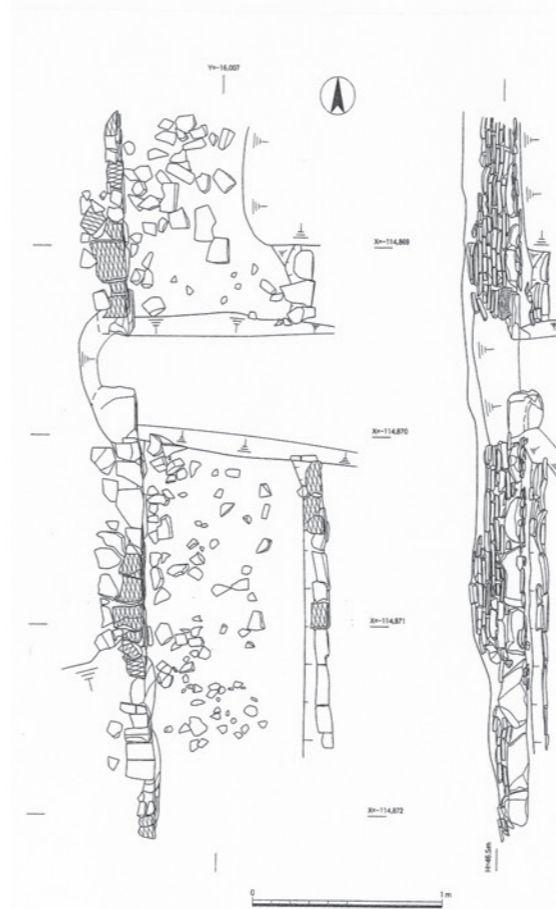
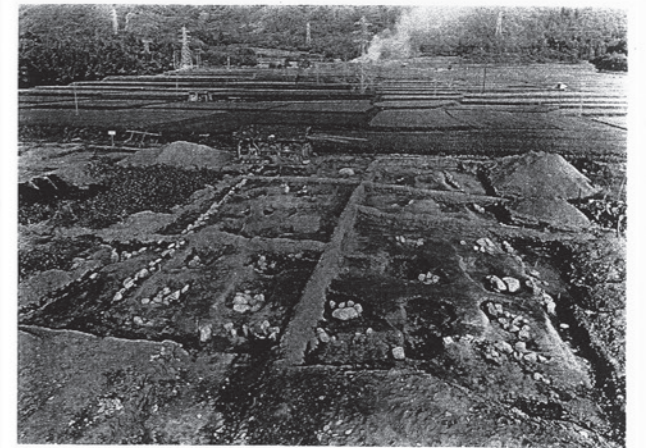


図11 平成16年度調査瓦積二重基壇平面および見通し図 (1 : 40)



北方建物全景 (西から)



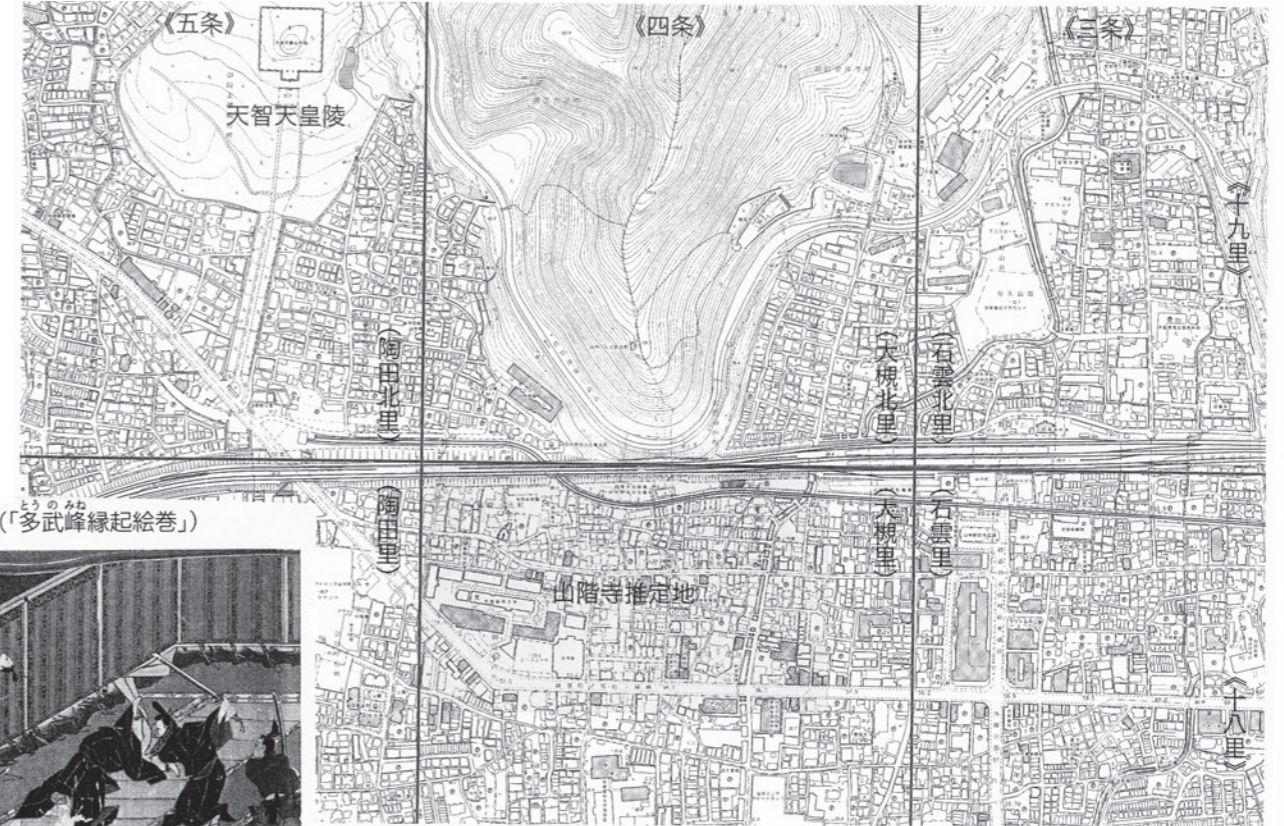
中央建物全景 (西から)



調査区全景 (東から)

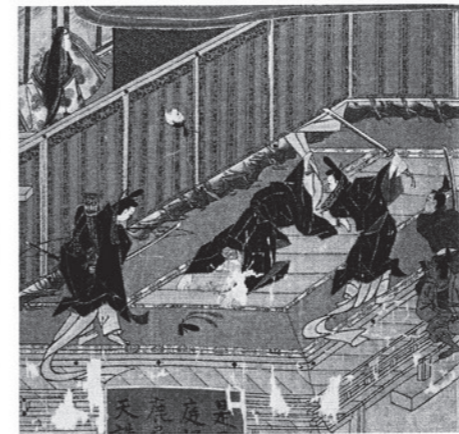


瓦積基壇 (北東から)



吉川真司氏による山階寺推定地 (堀 2010 より)

① 乙巳の変 (『多武峰縁起絵巻』)



中大兄皇子・中臣鎌足らが飛鳥板蓋宮で蘇我入鹿を斬殺した場面を描いたもの。絵巻は、16世紀前半の成立と推定されていて、描かれた人物の衣服は7世紀のものではない。

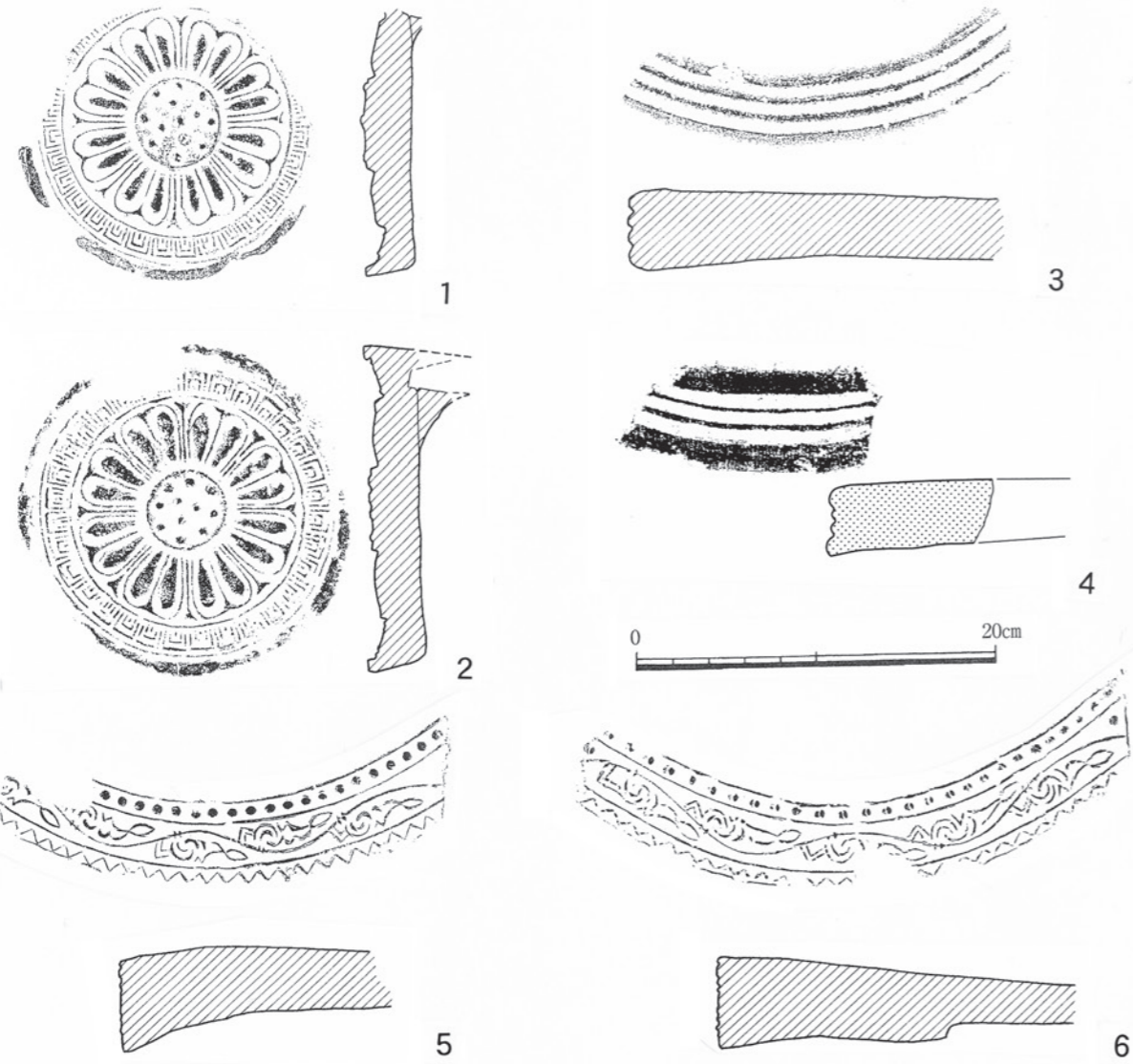


図12 軒瓦拓影及び実測図 (1:4)

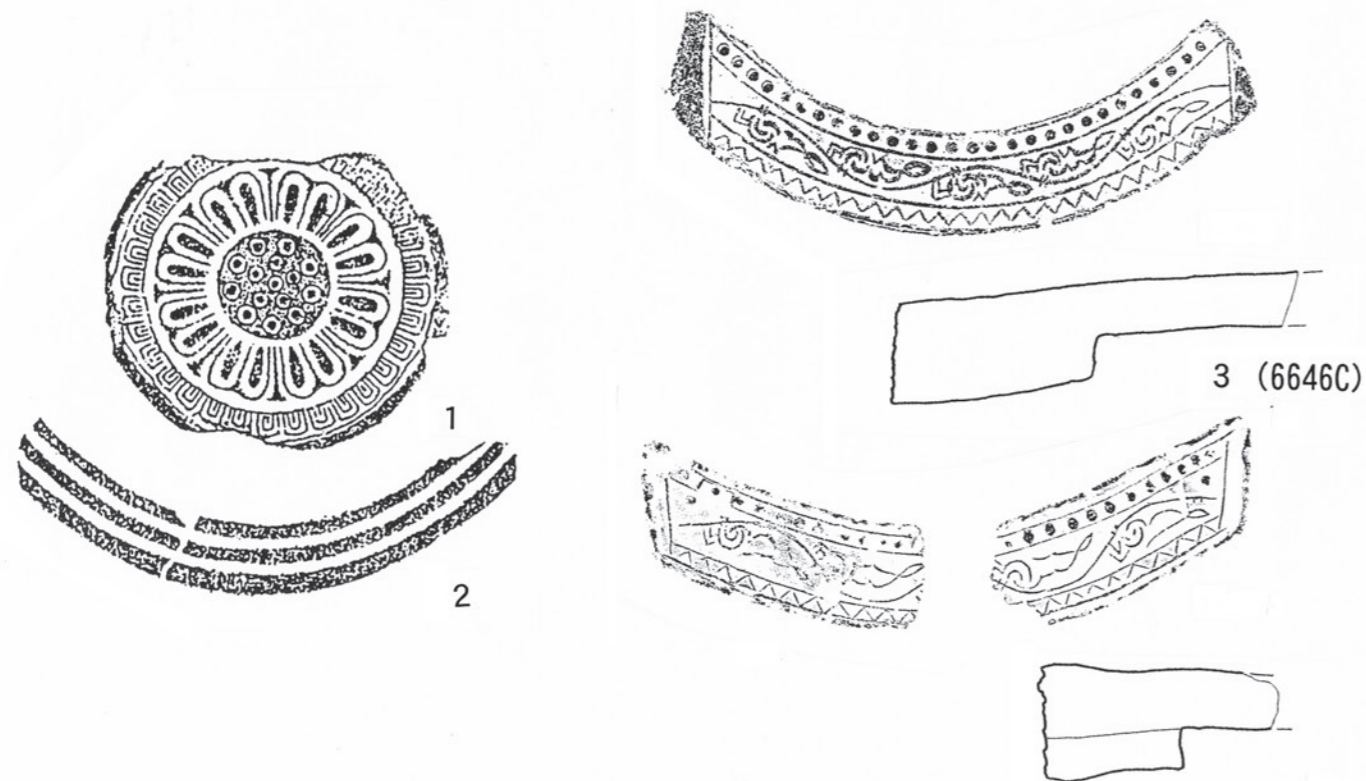


図13 紀寺式・藤原宮式軒瓦 (1:4)

六六三年	白村江の戦い。
六六四年	対馬・壱岐・筑紫などに防人・烽を置き、筑紫に水城を造る。
六六六年	百濟遺民二千余人を東國に移す。
六六七年	都を近江に遷す。
六六八年	天智天皇即位。高句麗滅亡。
六六九年	天智、山科で薬獵をする。
	藤原鎌足没。
	余自信・鬼室集斯ら百濟遺民七百余人を近江国蒲生郡に住まわせる。
六七〇年	法隆寺炎上する。
六七一年	漏剋を造る。天智天皇没。
六七二年	壬申の乱勃発。飛鳥浄御原宮に遷る。
六七三年	天武天皇即位。
六七六年	新羅が朝鮮半島を統一する。
六八〇年	薬師寺の建立を發願。
六八六年	天武天皇没。皇后称制。
六九〇年	持統天皇即位。
六九四年	大宅麻呂らを鑄銭司に任ずる。
	藤原京へ都を遷す。

(堀 2010 より)